

BOOK No.5 インフォメーション

男女の間のさまざまな課題に
気づき、私らしい人生を送る
ための書籍を隔月で紹介

イクメン

* 本号に関連する講座として、パパのための子育てサロン（毎月第2土曜日）やパパの子育てステップアップ講座（10/4[土]）を開催しています。また、パパたちが自主的にパパ目線でイベントを企画・実施するイクメン研究所も活動中。詳細は表面カレンダー及びHPをご覧ください。

子育てを積極的に楽しむ男性

子育てに積極的に関わり、楽しむ男性をさすイクメン。2010年の新語・流行語大賞にもなりました。男性の育児休業取得率もここ数年徐々に増加し、2013年には2.03%となっています。実際に育休を取るまではいかなくとも、中学・高校で家庭科を学んだ20～30代男性を中心に、父親が育児をすることは自然であり、格好いいことだと考える「父親文化」が育ちつつあります。男性むけの育児グッズや雑誌も多数販売され、巷には「イクメンブーム」があふれていると言っています。

真剣に頑張っているからこそ、パパだって子育てに悩む時がある…パパ友との出会いが子育てに風を通します

働く女性にとってロールモデルとなる先輩が多くないのと同じように、あるいはそれ以上に、イクメンが自らの父親をロールモデルにできるケースは多くはありません。また、長らく男性の家事・育児参加を阻む要因と指摘されてきた長時間労働も改善されたとは言いがたいでしょう。そのような中、イクメンパパたちは日々家族のために仕事モードと家事・育児モードを切り替え、全力で頑張っています。そして、そうした男性たちの中には、同じ立場にある男性と緩やかにつながりながら地域の子どもたちのために活動している人たちもいます。子育てに真剣に取り組むからこそ、パパだって悩むこともあるものです。そんな時、悩みや目標・体験を共有できるパパ友がいれば心強く、ヒントもいっぱいあります。男女共同参画センターや市民館には、パパたちを応援する出会いの場やプログラムがたくさんあります。子育てに悩んだり、子育てをパワーアップしたいとき、ぜひ一度訪れてみませんか。

(参考文献) 石井クツ昌子『「育メン」現象の社会学』

【役立つ2冊を紹介】

※市内図書館&すくらむ21で読めます&借りられます



パパの料理は男の料理と違う！—川崎在住パパ料理伝道師のレシピ本

『ママと子どもに作ってあげたいパパごはん』 滝村雅晴著 マガジンハウス 2010年

当センター情報誌『すくらむ』でパパレシピを連載中の滝村雅晴氏の料理本。掲載レシピは、料理をしたことがないパパだけでなく、料理の苦手なママでも失敗せず作れる簡単なものばかり。男の料理が、自分のお腹が減ったときに作る自分のための趣味料理であるのに対して、パパの料理は、ママや子どもたちのお腹が減った時に作るパパの家庭料理なのだとか。家族にやさしいパパごはん、作ってみてはいかがですか？著者が講師の「パパ子 de クッキングパーティ」（10/18開催）も申込受付中！

親との葛藤を乗り越え、子どもとともに成長する子育て



『父親を嫌っていた僕が「笑顔のパパ」になれた理由』

NPO法人ファザーリング・ジャパン ファウンダー 安藤哲也著 廣済堂出版 2013年

「笑顔の父親」を増やすため、父親支援事業を展開するNPO法人ファザーリング・ジャパン（FJ）。その創設者が、父権的な父親を乗り越え FJ を創設するまでの経緯と、イクメンをめざす後輩へのエールとヒントを綴った本。FJ が提唱する「父親であることを楽しむ」行動とライフスタイルは、まぶしく自然体に見えるけれど、活動している彼ら自身も、ロールモデルがない中、親を反面教師として自らにくさびを打ち、仲間と悩みを打ち明け合い、過去の体験を昇華させてイクメンをめざしているのだ。新しい時代の夫や父親をめざす男性へ温かいメッセージが詰まっています。

川崎市男女共同参画センター（愛称:すくらむ21）

※JR 南武線「武蔵溝ノ口駅」徒歩 10 分
※東急田園都市線・大井町線「溝の口駅」徒歩 10 分

〒213-0001 川崎市高津区溝口 2-20-1

電話：044-813-0808

FAX：044-813-0864（受付 9:00～21:30）



携帯はこちらから

すくらむ 21

検索

